

# AMD RACER Ver2.0

09/2/6 JG7AMD 工房

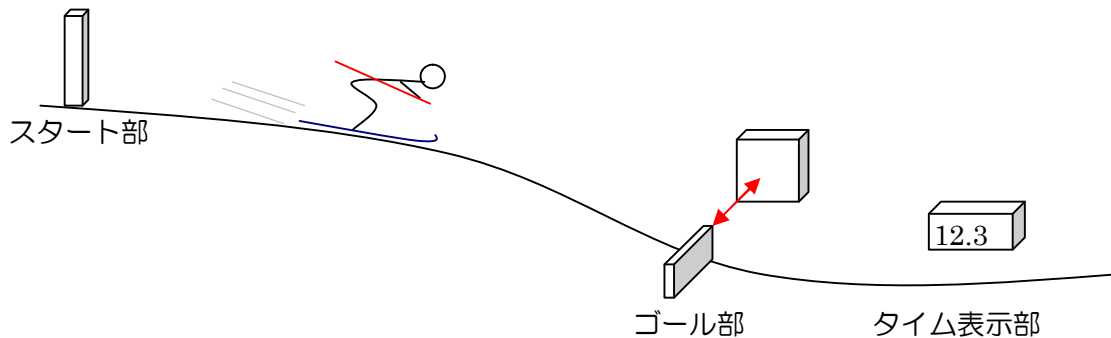
## 1. 概要

### 仕様

- 無線でタイム計測を行います。
- 最大7名までコースに入ることができます。
- 100走分のデータをEEPROMに保存します。
- 100走を超えた分は、自動的に古いものから上書きされます。
- 保存データはパソコンにRS232Cで転送できます。
- 最小計測時間、最大計測時間の設定が可能です。

### 構成

- スタート部、ゴール部、タイム表示部の3ユニットから構成され、各々無線で接続します。



### 計測方法

- スタートすると、スタート部からタイム表示部へスタートの信号を送ります。  
ゴールすると、ゴール部からタイム表示部へゴール信号を送ります。  
この信号を元にタイム表示部にタイムを表示します。

### 制限

- スタート部、ゴール部、タイム表示部それぞれにトランシーバーが必要です。
- 小電力トランシーバーを使用する場合、3台は相互に通信できる必要があります。
- 小電力トランシーバーは、いずれかが送信中の場合、同じチャンネルで送信できません。  
従って、ゴール部を選手が通過してからの3秒間は、スタートしても、スタート信号はタイム表示部では受け取れず、計測されません。  
また、スタートバーを切った直後の3秒間は、ゴール部を選手が通過しても、ゴール信号をタイム表示部は受け取れず、計測されません。

### 電源

- 全て単3電池を使用。スタート部（4本）、ゴール部（4本）、タイム表示部（6本）

## 2.タイム表示ユニットについて

### バージョン2.00での表示について

1234567890123456
A
B

16桁×2行で表示

A行に現在の滑走中の情報

B行にゴールしたタイム、及び過去のタイムの情報を表示。タイムオーバーによる自動DNFは99.99秒と表示されます。

#### A行の読み方

直近でゴールする人の2桁のID+経過タイム、右に出ている数字は、現在コースに入っている人の数。

05	12.56	2
04	34.55	

上の場合だと

A行

05番スタートから12.56秒経過（カウントアップしていきます）

コース上に2名（05番含む）

05番がゴールすると、06番の経過時間に切り替わります。

B行

04番のゴールタイム

なお、ゴールラインを切った直後には、時間は止まりません。これはスタートバーを切って2秒後に時間が動き始め、ゴールラインを切って2秒後に時間を止めるようにしているためです。

[←] [→]ボタンで、過去のデータのコールバックをした場合は、B行に表示されます。誰かがゴールすれば、自動的に最新ゴールタイムが表示されます。